

# 無償の3D スキャン・アプリ Scanivers

[ご購入はこちら](#)

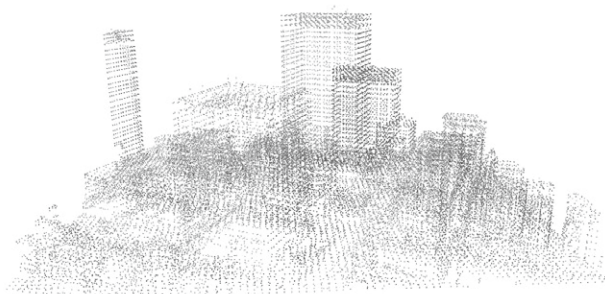
西尾 悟



図1 点群データを作成してくれるScaniverseがスマホ・アプリとして無償提供されている



(a) 軽量化前



(b) 軽量化後

図2  
可視化された東京都  
の点群データ

手持ちのスマホで特集の点群データ処理を試してみませんか。準備編では、点群データを取得できるアプリを2つ、紹介します。

## 室内や身近な物体の3D計測なら iPhone LiDARで十分

### ● 仕事で活躍

筆者はかつて、建設コンサルタントとして大型ドローンを使って、何時間もかけて、河川や堤防の点群データを取得、作成した経験があります。iPhoneにLiDARが搭載されてからは、特別な機材がなくても手軽に空間や物体を3Dデータ化できるようになり、衝撃を受けました。今では測定の他に映像制作、文化財保存など幅広い分野で活用が進んでいます。さらに高度な活用として、取得した点群データは、Python

などのプログラミング言語を使って加工/解析/可視化することで、データの軽量化やノイズ除去、形状の解析などさまざまな用途に役立てることが可能です。

### ● iPhone 12 Pro以降のモデルならOK

iPhoneのLiDARは、iPhone 12以降のProモデルに搭載されています。背面カメラ横の小さな黒いセンサーから不可視のレーザーを照射して距離を測定します。プロ用機材に比べると有効範囲や精度は限定的ですが、室内や身近な物体の3D形状を捉えるには十分な性能があります。有効距離は約5m、点群の精度は数cmです。

### ● PLYやLASといった標準的なフォーマットのデータを得られる

iPhoneのLiDARは本来、AR(拡張現実)やカメラの